

テーマ3: やさしいネットのマナー

ねらい: ネチケットを学ぶ | 45分(1コマ)

対象学年: 小学3~6年生(低学年は一部簡略化して利用可)

準備物: 事例カード(P.3に印刷用あり)、ワークシート(P.4)

このテーマで扱う内容

1. 文字だけのコミュニケーションの難しさ

表情や声のトーンが伝わらない → 誤解が生まれやすい

2. 送る前に考える習慣

「相手はどう思うかな?」と一呼吸おくことの大切さ

3. ネットいじめと悪口の深刻さ

画面の向こうに「人」がいる。書いたことは記録に残る

4. 困ったときの対処法

スクリーンショットで記録、すぐに大人に相談、ブロック・通報

授業の流れ(概要)

0~5分 **導入** 「文字だけで気持ちは伝わる?」体験ワーク

5~15分 **展開1** 文字コミュニケーションの落とし穴(事例カード)

15~25分 **展開2** ネットいじめ・悪口の影響を知ろう

25~35分 **展開3** 「やさしいネットの使い方」5つのルール

35~45分 **まとめ** ふりかえり・ワークシート記入

準備物チェックリスト

- 事例カード(P.3下部を切り取って使用 or 付箋に書き写す)
- ワークシート(P.4を人数分コピー)
- この指導案資料(印刷して手元に)
- プロジェクター + PC(スライドを映す場合・なくても可)

ポイント

テーマ1・2を学んだ後に実施すると効果的ですが、単独でも十分活用できます。
LINEやチャットを使い始める3~4年生に特に重要なテーマです。

指導のポイント

■ 導入(5分)「文字だけで気持ちは伝わる？」

同じ文章でも受け取り方が変わる体験を通じて、文字コミュニケーションの難しさに気づかせる。

体験ワーク:「べつにいいよ」は何の気持ち?

- ・OK(いいよ、やろう!)の意味?
- ・怒っている(もう勝手にして)の意味?
- ・悲しい(本当はイヤだけど…)の意味?

→「文字だけだと、気持ちが伝わらないことがあるね」と導入する。

板書ガイド

板書:「べつにいいよ」→どんな気持ち?文字だけだとわからない!

■ 展開1(10分)文字コミュニケーションの落とし穴

【伝えるポイント】

- ・対面では表情・声のトーン・ジェスチャーが使えるが、文字にはない
- ・冗談のつもりが本気に受け取られることがある
- ・既読スルーが「無視された」と誤解されることもある

【事例カードを使ったワーク】(P.3の事例カードを使用)

事例を読み上げ→「どう感じた?」「どうすればよかった?」を児童に考えさせる

板書ガイド

板書:文字だけ→表情がない→誤解が生まれやすい
「おもしろいね」→ほめてる?バカにしてる?

■ 展開2(10分)ネットいじめ・悪口の影響

【伝えるポイント】

- ・画面の向こうにも「心を持った人」がいる
- ・ネットの悪口は記録に残り、スクショで広まる
- ・グループトークでの仲間外れも「いじめ」になる
- ・一度広まった言葉は取り消せない(デジタルタトゥー)

考えさせる問いかけ:

- ・「面と向かって言えないことは、ネットでも書かない」
- ・「もし自分が書かれたら、どんな気持ちになる?」

板書ガイド

板書:画面の向こうにも「人」がいる!
面と向かって言えないことは→ネットでも書かない

■ 展開3(10分)「やさしいネットの使い方」5つのルール

ルール1:送る前に読み返す(相手はどう思うかな?)

ルール2:悪口・いじわるは絶対に書かない

ルール3:知らない人からのメッセージには返事しない

ルール4:友だちの写真や情報を勝手に載せない

ルール5:いやなことがあったら、スクショして大人に相談

板書ガイド

板書:5つのルール(1)読み返す(2)悪口NG(3)知らない人NG(4)勝手に載せない(5)相談

■ まとめ(10分)ふりかえり・ワークシート記入

5つのルールを振り返り、P.4のワークシートを配布して記入させる。

「友だちにやさしくする」のはネットでも同じ、というメッセージで締める。

先生のための用語解説(10語)

ネチケット

ネット+エチケットの造語。インターネット上のマナーやルールのこと。

ネットいじめ

SNSやチャットで悪口を書く・仲間外れにするなど、ネットを使いたいじめ。

既読(きどく)

LINEなどで相手がメッセージを読んだことを示す表示。トラブルの原因にも。

スクリーンショット

画面を画像として保存する機能。「スクショ」と略す。証拠保存に使える。

既読スルー

既読がついたのに返信がないこと。「無視された」と感じるトラブルが多い。

ブロック

特定の相手からのメッセージやアクセスを拒否する機能。

グループトーク

LINEなどで複数人が参加するチャット。仲間外れの原因になることがある。

通報(つうほう)

不適切な投稿やアカウントをサービス運営者に報告する機能。

スタンプ・絵文字

気持ちを表す画像や記号。便利だが、誤解を招くこともある。

デジタルタトゥー

ネットに載せた情報が消えず残り続けること。入れ墨のように取れない。

授業で使える事例カード(切り取り or 読み上げ用)

事例A: 冗談のつもりが...

グループトークで「今日のテスト、〇〇ちゃん0点だったりして(笑)」と送ったら、
〇〇ちゃんが泣いてしまった。冗談のつもりだったのに...

事例B: 既読スルーで大げんか

友だちにLINEを送ったけど既読のまま返信がない。「無視された!」と怒って
別の友だちに悪口を送ったが、実は相手は習い事の最中だった。

事例C: グループから外された

クラスのLINEグループに自分だけ招待されていないかった。
学校で聞いたら「定員いっぱいだから」と言われた。とても悲しい気持ちに...

事例D: 写真を勝手に投稿

友だちとの変顔写真を「おもしろいから」とSNSに投稿したら、
友だちが「消して!」と泣きながら訴えてきた。

事例E: 知らない人からのDM

インスタに投稿した写真に知らない人から「かわいいね、何歳?」と
メッセージが来た。うれしかったけど、なんか怖い...

よくある質問(児童から出やすい質問)

Q. 既読スルーされたらどうしたらいい?

→ 相手は忙しいだけかも。少し待ちましょう。すぐ怒ったり悪口を書くのはNG。

Q. スタンプだけの返事は失礼?

→ スタンプだけでも大丈夫! でも大事な話は言葉で返すほうが気持ちが伝わります。

Q. グループトークを抜いたら怒られる?

→ 抜きたい理由があるなら、その気持ちを大事に。先生や大人に相談してみましょう。

やさしいネットのマナー ワークシート

～画面の向こうにも「人」がいるよ～

なまえ: _____ 年 組 番 _____ 日づけ: 月 日

Q1. 「べつにいいよ」はどんな気持ち? 3つ考えて書こう

気持ち1: _____

気持ち2: _____

気持ち3: _____

Q2. つぎの場面で、あなたならどうする?

グループトークで友だちの悪口が送られてきた。

こたえ: _____

自分が送ったメッセージが既読スルーされた。

こたえ: _____

Q3. ○×クイズ! 正しいものに ○、まちがいに ×

- メッセージを送る前に、一度読み返したほうがいい
- 冗談なら、友だちの悪口をネットに書いてもいい
- 既読スルーされたら、すぐに別の友だちに相談(悪口)してもいい
- 友だちの写真をSNSに載せるときは、必ず許可をもらう
- いやなメッセージが来たら、スクショして大人に見せる

やさしいネットの使い方 やくそく

相手のことを思いやってネットを使うために、じぶんで決めたやくそく:
